

## 平成30年度第1回大津町地域公共交通会議 議事概要

平成30年8月13日（月）午前10時～  
オークス2階 ふれあいホール

### 1. 議事

#### ①大津町の公共交通を取り巻く現状について

委員より 九州産交バス三里木線の27年10月からの乗車数と、それ以前とでかなり数が違っているが、この原因は？

事務局回答 平成27年の12月にバス路線の再編があり、減便等されているため、それにより利用者が減ったのではないかと考えている。

委員より バス路線の補助金がかかなり多いが、黒字の路線はないのか。

事務局回答 いま現在は無し。

事務局説明 殆どの路線は他市町に跨っている広域路線であり、その見直しというのは簡単には出来ない。もし見直しをする場合は、それぞれの自治体の協議会等にかけて、調整していくということになるが、それに対して内牧環状線や大津駅南口線は、町内だけを回る循環路線であるため、見直しをするということであれば、町内循環路線であるこの2つから見直していく予定である。

委員より 乗合タクシーの利用者実績で、毎年利用者数が増加しているが、一人で乗っている方が多いのか、「乗合」タクシーになっているのか。

事務局回答 タクシー会社で、近い地域であればなるべく乗合いになるようにして、運行回数を減らすよう工夫している。ある程度の乗合いは確保できていると思われる。一人で乗る利用者が増えれば増えるほど、補助金額が増えていくため、乗り合わせる工夫を続けていく

事務局説明 今年度主に取り組むこととして内牧環状線の見直しと、それに伴う乗合タクシーの導入、あるいは代替交通機関の導入をメインに取り組む。事業者と協議しながら、来年度4月1日からの事業実施を目指す。

## ②大津町地域公共交通網形成計画に基づく事業及びその見直しについて

委員より 事業Ⅰについて 路線バスを廃止すれば代替交通が必要になるかと思うが、利用されるのは中学生が多いとのことなので、今後の中学生の推移については把握されているか。また、そこに対してどれほどの費用がかかるのか。

事業Ⅱについて、外出支援サービス（タクシー）については非課税世帯が対象だが、その利用状況や、年齢層の把握をしてほしい。

事業Ⅵについて バスロケーションシステムは、利用者の数を考えれば費用対効果が得られないのではないのか。

事業ⅩⅡについて JRなり産交バスなり民間の情報がそれぞれあるので、わざわざ一元化する理由が何かあるのか。

事務局回答 事業Ⅰについて 将来についてはだんだんと少なくなっていく見込み。費用としては、バスの3ヶ月定期券を20万円ほどかけて助成している状況。

事業Ⅱについて 当課においては詳細な把握はできていないが、65歳以上が多いと聞いている。

事業Ⅳについて 必要性については再度、検討しなければならない。費用と利便性をみて、検討していきたい。

事業ⅩⅡについて 各社ホームページ等で調べることはできるが、例えば乗り継ぎを行う場合に、どのようにすればいいのかを説明するような資料がない状態。南口に多数乗り入れているバスやライナーについて一目でわかるようなものを作成できたらと考えている。

委員より 学生はいずれ卒業していくため、高齢者のことを考えなければならぬと思う。学生のような若い人と、免許を返納するよう

な高齢者それぞれにあったバスやタクシーを考えていただきたい。

事務局回答 通学者に関しては、それ専用の代替交通を考えている。通学の時間にジャンボタクシーを一台用意して、通学地域をまわる等ができないかを検討していきたい。

事務局説明 事務局としては地域公共交通網形成計画に基づき、内牧環状線の廃止を含めた見直しを考えている。それに伴い、利用状況を見ながら他の路線と重なっている部分に関しては時間帯をずらす等で対応し、内牧環状線のみ地域に、代替交通を導入するという考え。

運輸支局 バス対策協議会に乗入事業者が、6ヶ月前に廃止の申し出をしなければならないという規定がある。また、廃止した場合の影響等も考えなければならないので、来年度の4月1日が目標であれば、逆算して進めていかなければならない。運輸支局への届出が、原則6ヶ月前だが、バス対策協議会で事前に検討させていただき、そこで了承を得たものであれば、1ヶ月前までに届出をすればよいことになっている。

産交バス バスロケーションシステムについて県内のバス事業者と打合せをしており、来年4月から運用開始予定。

会長 自家用車であれば自分で費用を負担するはずであり、すべて行政に頼ってはなかなか厳しくなってくる。地域の中でどう維持していくのかを住民の皆様も考え、議論してもらいたい。

委員より 事業ⅩⅡについて バスや電車が実際に地図上のどこを走っているのかがわからない部分がある。マップ等を作成し周知する必要がある。

事務局回答 実際の地図にラインを引くなどしてわかりやすくすることなども検討しながら進めていきたいと思う。

### ③平成30年度大津町地域公共交通会議予算（案）について

事務局より予算案について説明。委員からの質疑・意見等無し。予算案承認。

## 2. その他

事務局より連絡 今後のスケジュールについて

- 各地区をまわり、地元への説明を予定
- 通学者の方にアンケートを実施予定
- 11月末までにはある程度、方向性を決めて公共交通会議にて報告予定